

令和7年度事業報告

公益財団法人日本食肉生産技術開発センターは、食肉処理及び食肉流通の近代化を図るため、食肉処理及び食肉流通の技術及び衛生水準の高度化に関する調査及び普及等を実施している。令和7年度は次のような事業を実施した。

(公益目的事業)

1. 食肉処理技術情報収集、調査及び普及事業

先進的な食肉処理技術及び食肉生産技術研究組合の研究開発成果等について普及するため、機関誌「JAMTIBULLETIN」を令和8年3月に300部発行するとともに、ホームページを通じて各種情報の提供に努めた。

2. 食肉処理施設実態調査

食肉処理施設の再編整備等の参考資料とするため、食肉処理施設の経営状況、処理上の問題点と対応等についてアンケート方式で調査・分析を行い、食肉処理施設実態調査を取りまとめた。(農林水産省委託事業)

3. 食肉処理及び流通に関する機械・施設の研究開発事業

食肉処理及び流通に関する機械・施設の研究開発を行っている食肉生産技術研究組合の組合員として、研究組合への情報の提供等を行った。

また、研究組合から委託を受け、都道府県や食肉処理施設等関係者への研究成果発表会を令和8年2月18日に開催(200M参加者を含む156名が参加)するとともに、食肉産業展を令和8年3月10日～13日に東京ビックサイトで開催した。(参加者：延べ約7万4千名)

4. 中小企業経営強化税制に係る証明書発行事業

当センターは、「中小企業経営強化税制」に係る投資減税に必要な証明書発行機関として、食肉処理施設等の近代化を図るために必要な機械・施設についての証明書を令和7年度については、5件発行した。

5. 海外ハラルと畜技術等推進調査事業(JRA事業)(令和6年度～8年度)

本事業は、新たな牛肉の輸出市場として期待されるイスラム諸国への牛肉の輸出拡大を図るため、ハラル牛肉輸出に力を入れている豪州、NZ、ブラジル、米国のハラルと畜技術等を調査し、今後のわが国のハラル牛肉の輸出拡大を図るための事業である。

令和7年度は、第1回推進委員会(委員長：森田幸雄麻布大学教授)を5月20日に開催し調査の進め方等を検討した。

海外調査については、7月19日～同月26日に豪州を、11月1日～同月9日に米国を訪問し、ハラルと畜技術や法制度等について調査した。

国内のハラル施設の調査は、7月14日ににし阿波ビーフ(徳島県)、8月29日にゼンカイミート(熊本県)を調査した。

令和7年度第2回推進委員会を9月11日に開催し、ハラル認証団体のJIT(宗

教法人日本イスラーム文化センター)とのハラル牛肉に関する情報交換を行った。
第3回推進委員会は2月25日に開催し、海外調査結果等について意見交換を行った。

6. 輸出施設 AW 研修システム等調査検討事業 (JRA 事業) (令和7年～9年度)

本事業は、2024年5月に改正された国際獣疫事務局 (WOAH) 規約に基づき、我が国の食肉輸出施設においても国際的に対応できる AW の研修及び監査システム等を検討し、AW に対応した食肉処理を推進することにより、わが国の輸出促進を図る事業である。

本事業では推進委員会のもとに2つの部会 (AW 研修テキスト・関連指標作成部会、監査システム検討部会) を設置して検討を行った。

令和7年度第1回推進委員会 (委員長: 森田幸雄麻布大学教授) と、第1回 AW 研修テキスト・関連指標作成部会 (部会長: 森田幸雄麻布大学教授) 及び第1回 AW 監査システム検討部会 (部会長: 押田敏雄麻布大学名誉教授) を合同で6月9日に開催した。

第2回 AW 研修テキスト・関連指標作成部会と第2回 AW 監査システム検討部会を合同で11月25日に開催した。

第2回推進委員会と第3回 AW 研修テキスト・関連指標作成部会及び第3回 AW 監査システム検討部会を合同で令和8年3月6日に開催した。

海外調査は、9月27日～10月4日にオランダを訪問し、オランダの AW の研修、監査システム等の調査を行うとともに2月10日に食肉処理施設、都道府県、食肉団体、マスコミ等関係者を集め報告会を開催した。

また、1月25日～31日に米国の AW の専門機関の PACCO から専門家を招聘し、わが国の2か所の施設を訪問してアドバイスを受けるとともに、米国の AW 監査システム等に関するセミナーを東京で食肉処理施設、都道府県、食肉団体等関係者を集め開催した。

7. AW 対応豚電気スタニングシステム検討事業 (JRA 事業) (令和7年度～9年度)

本事業は、わが国では電気スタニングが主流であるが、電気スタニングの腹乗せコンベアに乗る際、豚がストレスで悲鳴を上げ、と畜作業の遅れや AW 上の問題を生じることから、豚の電気スタニングシステムの改善を図るとともに、豚のと畜施設における人手不足の改善・経営効率化、AW の向上を図る事業である。

令和7年度は、第1回推進委員会 (委員長: 押田敏雄麻布大学名誉教授) を6月17日に開催し、事業の進め方等を検討した。

第2回推進委員会を令和8年3月17日に開催し、令和7年度事業の進捗状況や国内調査の概要等について検討した。

国内調査については、「(株)いわちく」及び「JA かごしま南薩工場」の2か所において、豚のストレス等の調査のため唾液や血液の採取分析や豚の動きの映像撮影等を (独) 家畜改良センター及び (株) 農林放送事業団に業務委託して実施した。

8. 食肉処理施設等へのコンサルティング事業

食肉処理施設からの委託を受け、受益者の負担による食肉処理施設再編整備計画の作成、HACCP 作成等に関するコンサルティングを実施することとしてい

るが、7年度は依頼実績がなかった。

9. その他

対米牛肉輸出施設に対し米国から求められている懸垂放血による血斑発生問題の改善等を図るため、(一社)日本畜産物輸出促進協会と(公財)日本食肉生産技術開発センターが連名で、令和7年7月31日付けで「日本産牛肉の輸出拡大に向けた改善要望」を農林水産省畜産局食肉鶏卵課長宛てに提出した。

これを受け、厚生労働省と農林水産省が米国農務省と協議した結果、令和8年4月に米国農務省より懸垂放血から寝かせ放血への変更が認められた。

(収益事業等)

食肉処理機械等のリース事業

一般財団法人畜産環境整備機構が実施する食肉販売合理化整備リース事業の借受者として、食肉処理施設への機械・施設の貸付を実施しているが、令和7年度については実績がなかった。

(法人の運営体制の充実を図るための取組)

内閣府「公益法人の自主的・自律的ガバナンス強化のための調査報告書」及び他法人の事例を参考にするなど、今後の取組みを進めていくこととします。

(評議員会及び理事会の開催)

1. 理事会

(1) 第1回理事会：令和7年6月3日・火曜日 13:30～14:30

議題

(決議事項)

- ① 令和6年度事業報告及び附属明細書の承認に関する件
- ② 令和6年度決算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び附属明細書並びに財産目録の承認に関する件
- ③ 令和7年度事業計画及び収支予算の変更に関する件
- ④ 評議員選任候補者の推薦に関する件
- ⑤ 理事選任候補者の推薦に関する件
- ⑥ 「令和7年度研究成果発表会開催事業」及び「2026年食肉産業展への出展事業」の業務委託契約書締結に関する件
- ⑦ 評議員会の開催の日時及び場所並びに議事に付すべき事項の決定に関する件

(報告事項)

理事長、専務理事の職務の執行状況の報告に関する件

(2) 第2回理事会：令和7年6月19日・木曜日 15:00～15:10

議題

(決議事項)

- ① 代表理事(理事長)及び業務執行理事(専務理事)の選定に関する件
- ② 理事長の報酬額に関する件

(3) 第3回理事会：令和8年3月5日・木曜日 13:30～開催

議題

(決議事項)

- ① 令和8年度事業計画及び収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の承認に関する件
- ② 評議員選任候補者の推薦に関する件
- ③ 理事選任候補者の推薦に関する件
- ④ 評議員会の開催の日時及び場所並びに議事に付すべき事項の決定に関する件

(報告事項)

理事長、専務理事の職務の執行状況の報告に関する件

2. 評議員会

(1) 定時評議員会：令和7年6月19日・木曜日 13:30～14:15

議題

- ① 令和6年度事業報告及び附属明細書の承認に関する件
- ② 令和6年度決算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認に関する件
- ③ 令和7年度事業計画及び収支予算の変更に関する件
- ④ 評議員の選任に関する件
- ⑤ 理事の選任に関する件

(2) 臨時評議員会：令和8年3月23日・月曜日 13:30～14:00

議題

(決議事項)

- ① 令和8年度事業計画書及び収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の承認に関する件
- ② 評議員の選任に関する件
- ③ 理事の選任に関する件

(評議員及び役員の異動)

(1) 評議員の異動

○令和7年6月19日の定時評議員会において、任期満了に伴い選任された。

退任：青木春男、日野邦昭、松本 均

選任：池上和弘（再）、大野高志（再）、押田敏雄（再）、古賀 満（再）、
木村元治（再）、久慈 信（再）、坂口雅彦（再）、新開 稔（再）、
中西栄介（再）、廣川 治（再）

○令和8年3月23日の臨時評議員会において、辞任に伴い選任された。

辞任：池上和弘

選任：竹ノ井伸光

(2) 理事の異動

○令和7年6月19日の評議員会において、任期満了に伴い選任された。

退任：宮坂 亘

選任：飯高 悟（新）、伊藤剛嗣（再）、海内智治（再）、大田 均（再）、
小川一夫（再）、木下良智（再）、倉持繁夫（再）、兒玉龍二（再）、
高橋正道（再）、濱 勝也（再）、原口 悟（再）、姫田 尚（再）、
福田武仁（再）

○令和８年３月２３日の臨時評議員会において、辞任に伴い選任された。

辞任：大田 均、小川一夫

選任：小川晃弘、田中和宏

（３）監事の異動

監事の異動はなかった。

附 属 明 細 書

事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。